

## ◆研究2【補充指導】の実践イメージ

※新規:3,4年算数科少人数指導＋タブレット端末の活用  
(デジタルドリルの活用)

※新規:1,2年におけるデジタルドリルの活用

①**朝学習**:ベーシックタイム(15分)におけるデジタルドリルの活用法

②**土曜授業**:パワーアップタイム(45分)におけるデジタルドリルの活用法

◆そもそも補充指導の目的は何か？

「基礎・基本的な力を定着させ、発展的な力を育むこと」

＝全員に出す「**共通課題**」と本人の意欲や学習状況に応じて進める「**自主課題**」から構成される。

※アナログ(プリント等)学習とデジタル(デジタルドリル)学習の比重は？

※学年の発達段階で使い分けた方がベターか？

※定着場面、問題練習場面で使い分け方があるのか？

# 学習場面におけるアナログとデジタルの使い分け方

教師は、子どもの学習状況からアナログとデジタルによる学習指導の使い分けを判断する

指導方法 学習場面	アナログによる 学習指導	デジタルによる 学習指導	児童生徒の 学習状況 (基礎基本の定着 度、活動内容等)	
<b>授業</b>  <b>補充指導</b>  <b>家庭学習</b>	基礎基本の定着	定着の確認、習熟	C: 不十分	学習対象の把握 見学 観察 鑑賞等
	基礎基本の定着	定着の確認、習熟	B: 概ね良好	
	基礎基本の定着	定着の確認、習熟	A: 良好	

順序性・組み合わせ方

基礎基本の定着

使い分け方

定着の確認、習熟

基礎基本の定着

使い分け方

定着の確認、習熟

基礎基本の定着

使い分け方

定着の確認、習熟

C: 不十分  
B: 概ね良好  
A: 良好

C: 不十分  
B: 概ね良好  
A: 良好

C: 不十分  
B: 概ね良好  
A: 良好

学習対象の把握  
見学  
観察  
鑑賞等

学習対象の把握  
見学  
観察  
鑑賞等

学習対象の把握  
見学  
観察  
鑑賞等

# 【子ども・教科・学級レベル】学習課題の重点の置き方

子ども・各教科・学級・学校全体の平均通過率(上位層:平均以上、中位層:平均並、下位層:平均以下)に応じた学習課題の与え方は？

課題の種類 階層	【基礎・基本】 読み・書き・計算等の 知識, 理解, 技能等 A問題(主に知識)	【応用力, 活用力】 自ら考える力 思考・判断・表現 B問題(主に活用)	【その他】 家庭・地域との連携 学校の教育環境等
上位層 子ども・ 教科・ 学級	○	◎ 重点	◎ノーメディアタイム、早寝 早起き朝ごはん ◎うち読 ◎家庭学習ノートの有効 活用
中位層 子ども・ 教科・ 学級	◎ 重点	○	◎スポ少、地域スポ、習い 事との両立 ※家庭学習の課題も個 に応じて与える。
下位層 子ども・ 教科・ 学級	◎ 重点	※どれだけ個別最適 化された学習課題を 与えられるか。	・共通課題:基礎問題 ・個別課題:応用問題 自主課題 ※デジタルドリルの活用

# アナログとデジタルを組み合わせた補充指導の場



**【朝学習】ベーシックタイム**(火曜日、木曜日毎週 15分)

15分×35週×2曜日=1050分/年(漢字の読み書き・計算問題等の定着)

**【補充指導におけるアナログとデジタルの使い分け方について検証】**



**【土曜授業日】パワーアップタイム**(毎月1回1校時 45分)

45分×10月=450分/年(漢字の読み書き・計算問題等の定着確認や習熟を図る)

**土曜授業の学力補充指導での複数体制(担任、指導方法改善、理専、音専、教頭)による指導**

# 2023年度実践

## 【補充指導編】

TT指導や少人数指導との組み合わせ  
家庭学習ノートとの組み合わせ など

## デジタルドリルの活用

- ◆朝学習「ベーシックタイム」(火・木15分)
- ◆土曜授業「パワーアップタイム」(45分)

# 【補充指導】学習目的に応じたアナログとデジタルによる学習指導の基本的な使い分け方



## 【補充指導におけるアナログとデジタルの使い分け方に係る仮説】

① 知識を覚えたり、深く考えたりする力を育てるとき→アナログの漢字帳や読解力課題プリント等の紙で取り組ませることが効果的

② 学力が定着しているかの確認・見届けやさらなる習熟を図るとき  
→デジタルドリルなどの教材を活用することが効果的で効率的

③ ①と②のどちらに重きを置くか？どのような流れで行うか、その学習状況を見極めて、使い分けられる力を教師は養うことが重要

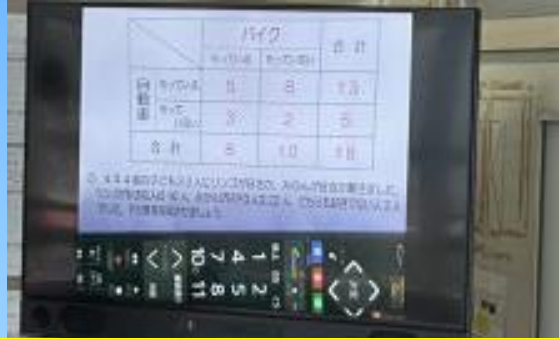
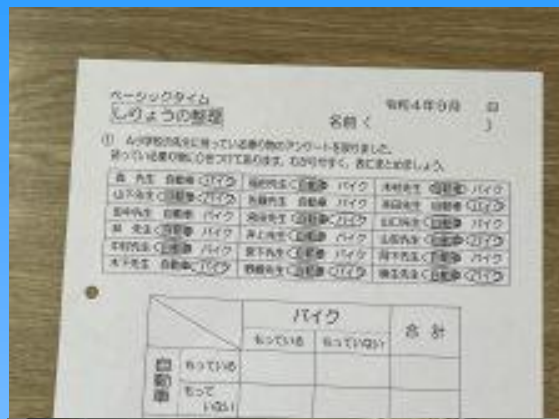
# 【朝学習】基礎基本の定着と習熟を図る「ベーシックタイム」(15分間)

2023年05月02日



**学習の目的が基礎基本の定着の場合**は、手書きの家庭学習ノートを始めとして漢字帳や計算プリントなどのプリント・紙(アナログ)を活用しています。  
**学習の定着度や習熟を図る場合**は、デジタルドリルなどのICT機器を有効に活用して取り組んでいます。

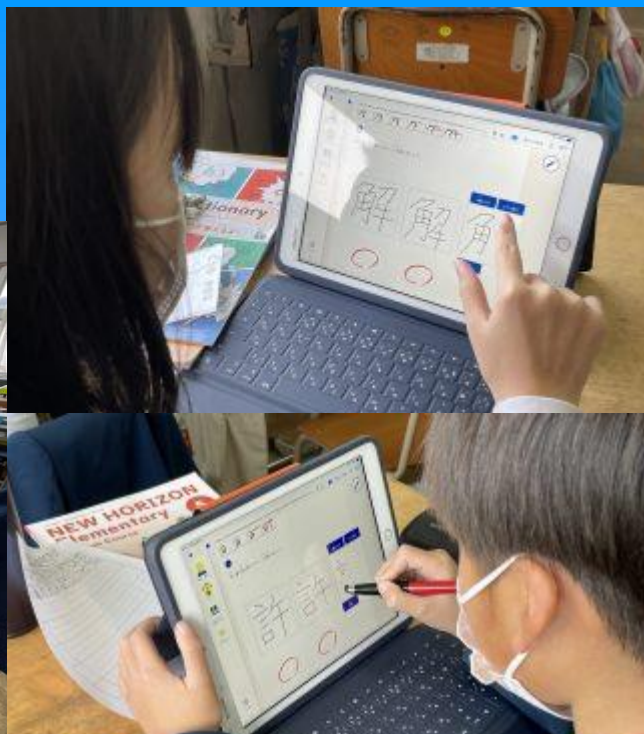
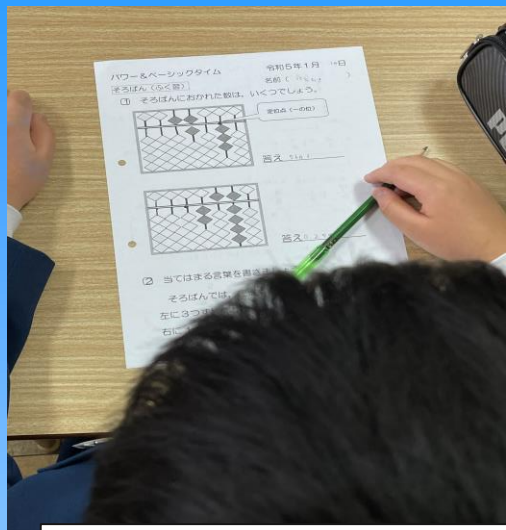
# 【朝学習】基礎基本を身に付ける「ベーシックタイム」 (15分間の短時間で基礎基本を効果的に身に付ける)



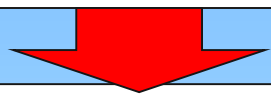
朝学習「ベーシックタイム」(8:25~8:40、15分間)の各学級の取組の様子を取材しました。ローマ字の書き方を学習する学級、漢字の書き取り・使い方を学習している学級、百ます計算表で九九の習熟を図っている学級、ある数の倍数や約数をプリントにまとめている学級、タブレット端末でローマ字入力の練習をしている学級など様々です。学級の児童の実態を最もよく把握している担任が意図的・計画的に判断して課題を与えています。子どもの発達や身に付けたい学習内容に応じて教師はその使い分けを工夫しながら学力向上を目指しています。



# 【パワーアップタイムの基本的な進め方】1単位時間(45分間)



【課題プリント】→再度基礎基本の定着化→【デジタルドリル】定着の確認・習熟



→【担任による個別指導】一人一人の学習状況を把握の上、個別指導を行う





# 【土曜授業】5月土曜授業日の「パワーアップタイム」 (デジタルドリルのみ、課題プリントとの組み合わせなど)

タブレットドリル  
① 算数  
3. 比例  
変り方を調べよう

☆ 復習プリント  
↓  
☆ タブレットドリル  
算数 比例  
↓  
☆ 算数 平均

パワーアップタイム  
「比例」のテストでたしかめ  
苦手をたしかめ  
↓  
タブレットドリル「比例」のテスト

パワーアップタイム  
② タブレットドリルを使ってみよう  
ロイノート  
↓  
タブレットドリル

タブレットドリル  
① 算数  
3. 比例  
合同な図形 ⇒ たしかめ  
(一番下) → フォーネアップ  
→ チャレンジ  
② 理科  
1. 天気の変化

タブレットドリルを使い方に慣れよう  
学習の流れ  
タブレットドリル  
算数 { 1. 図形と組み合わせ  
2. 文字式 }  
理科 { 1. 天気の変化 }  
たしかめプリント  
↓  
フォーネアップ  
チャレンジ

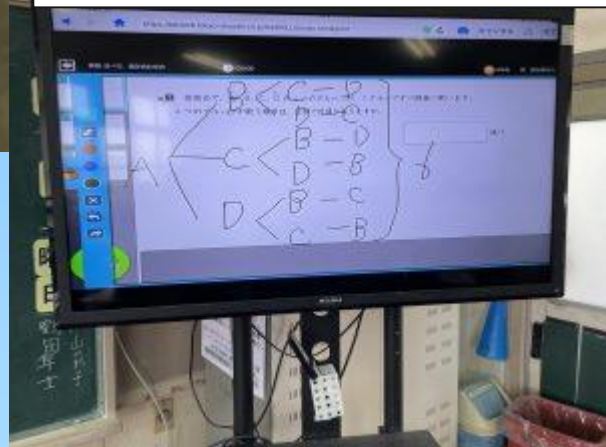
## 45分間でデジタルドリルをどのように活用し展開させていくか？ 試行中です。

5月13日(土)1校時は全校一斉(1年生除く)のパワーアップタイムを行いました。2年生は、タブレット端末の設定は終わりましたが、今回は課題プリントで学習。3年生以上のほぼすべての学級でタブレット端末を活用した補充指導を行いました。3年生は、今回初めての活用となるため、デジタルドリルの使い方についてのオリエンテーションも兼ねて、実際にタブレットに触れながら使っていました。4年生以上は昨年度からデジタルドリルを活用してきていますが、今回アクセスの仕方や使い方などを再度確認しながら活用していました。今回、3年生以上の410名を超える児童が一斉にタブレット端末を立ち上げて、デジタルドリルを使用しました。デジタルドリルと課題プリントをどう組み合わせると効果的かを様々な展開を試行しています。

# 【土曜授業】5月土曜授業日の「パワーアップタイム」 (TT指導＋デジタルドリルの効果) 2023年05月13日



※採点をしなくてよいので担任は、きめ細やかに個別指導を行うことができる。



※「デジタルドリル(漢字、計算)」の効果を検証

# 【土曜授業】6月土曜授業日の「パワーアップタイム」 1年1組でのロイロノートに係る操作指導 2023年06月10日



6月10日(土)1校時に1年1組ではパワーアップタイムの時間に、タブレット端末の操作の仕方を学習していました。これまで生活科の学習でアサガオを育てていますが、毎週のその様子をタブレットカメラで撮影して写真を撮りためています。その写真を「ロイロノート」という学習ソフトを使って並べ変えたり、先生に送信したりする操作法を学習していました。入学してわずか2か月の子どもたちが担任の先生の説明や指示を聞きながら操作をしていました。

# 【土曜授業】6月土曜授業日の「パワーアップタイム」 デジタルドリルの全学年・全学級での活用 2023年06月10日



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



特別支援学級





# 【土曜授業】7月学期末「パワーアップタイム」 の取組

2023年07月08日

<p>算数 1 かけ算 ↓ 1 表とグラフ</p> <p>理科 1 春のしぜん ↓ 1 風で動かそう</p>	<p><u>パワーアップタイム</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>漢字テスト</li><li>漢字の読みリレー</li><li>タブレットドリル</li></ul>	<p>パワーアップタイム</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① びゅう電器とタブレットにシールをは</li><li>② タブレットドリル 「2けたあわらわり算」</li></ol>	<p>タブレットドリル</p> <p>5年生 速さ 6年生 小数と分数 4年生 3年わり算</p>
--	---	---	---

※テスト返却→テストの間違い直し→デジタルドリルで定着確認・習熟を図る。理解の不十分なところを子どもが選択して取り組む

